

# 「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の策定に関する市民アンケート調査

市民の皆様におかれましては、日頃より市政運営につきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国は昨年、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の克服と地域活性化の推進を図る全国的な取り組みをスタートさせました。

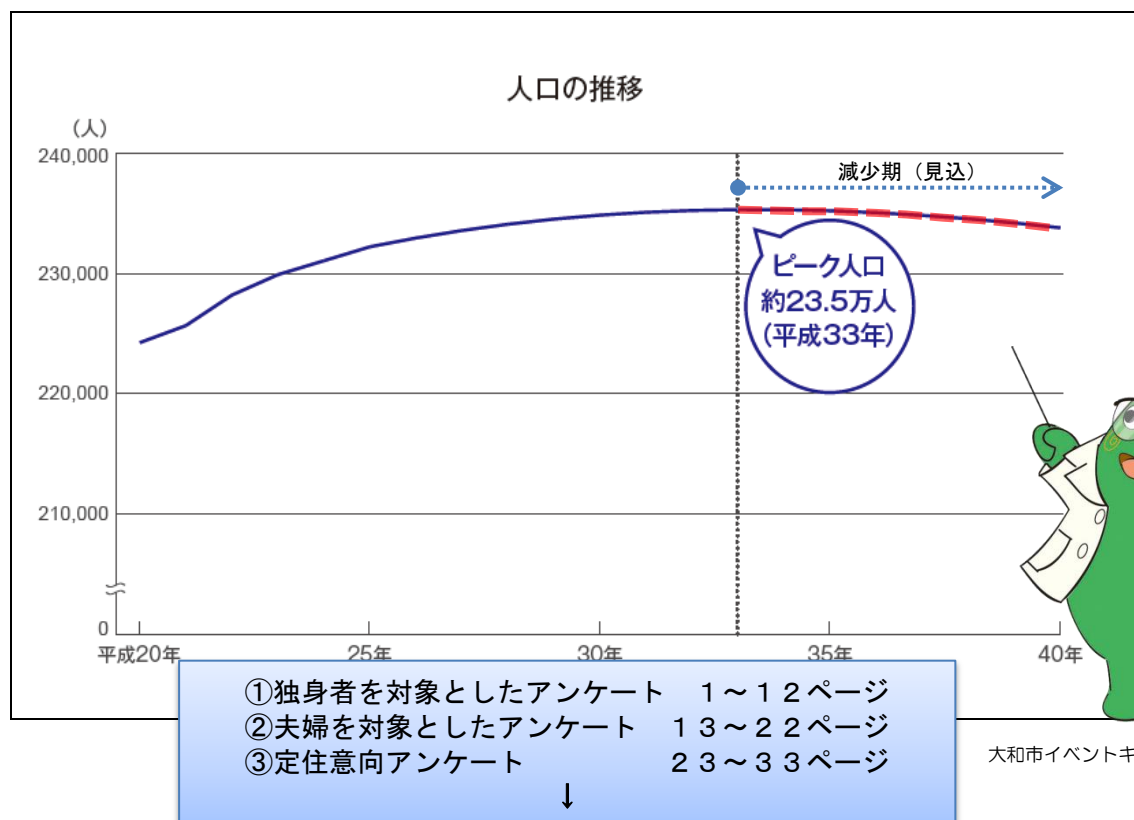
大和市の人口は現在も増加していますが、やがては訪れる減少期（※）に備えて、今のうちに効果的な対策を講じておくことが大変重要であると考え、本市においても「大和市版総合戦略」を策定していくことにいたしました。

この戦略を、人口減少に歯止めをかける実効性の高いものとするためには、市民の皆様の結婚・出産・子育てに対する意識や希望をしっかりと把握し、的確な分析を行ったうえで、有効な施策について検討していくことが重要であると捉えています。

つきましては、お手数をおかけし大変恐縮ですが、結婚・出産・子育てに対する意識・希望のアンケート調査（概ね10分かかります。）に是非ともご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

平成27年6月 大和市長

※第8次大和市総合計画の人口推計



### 《アンケートについて》

- このアンケート調査は、本市の人口推計の策定や人口減少に歯止めをかけるために必要な施策を検討するにあたって、結婚や結婚後の子どもの人数に関する意識・希望を調査するものです。
- このため、住民基本台帳をもとに、結婚されていないと類推される18歳以上～50歳未満の方2,000人を見無作為に抽出しています。
- 既にご結婚されている場合は、なにとぞ失礼の段ご容赦ください。（アンケートは破棄いただいで結構です。）
- 調査は無記名方式であり、ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理されますので、お名前や個別の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。
- 設問は22問あり、概ね10分かかります。
- 本市において、人口減少に視点を置いたアンケート調査は初めてとなります。このことから、全国的な調査と比較することで本市の特徴や傾向を明らかにするため、国の機関が実施した調査※と概ね同一の設問としています。中には、答えにくいものもあるかと存じますが、出来る限りのご回答にご協力いただけますよう、お願いいたします。
- この調査は、大和市が（株）建設技術研究所に発送・回収などの業務を委託し、行っています。

### 《ご記入にあたって》

- ①あて名のご本人様がお答えください。
- ②質問の番号に沿ってお答えください。
- ③番号に○印をつける設問では、（○印は一つまで）・（○印は二つまで）のように指定していますので、それに合わせてください。
- ④ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**7月3日（金）**までにご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- ⑤調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、次の問い合わせ先までご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

大和市役所 政策部 総合政策課

電話：260-5304（直通）

（平日8時30分から17時15分まで）

※国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」

## あなた自身についてお伺いします

問1 あなたの性別を教えてください。(○印は一つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○印は一つ)

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満  | 2 20～24歳 | 3 25～29歳 | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40～44歳 | 7 45～49歳 |          |

問3 大和市内での居住年数を教えてください。(○印は一つ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 3年未満      | 2 3年以上5年未満   |
| 3 5年以上10年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 5 20年以上     |              |

問4 あなたのおつとめの形態を教えてください。(○印は一つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 正社員・正職員    | 2 パート・アルバイト  |
| 3 派遣・嘱託・契約社員 | 4 自営業主・家族従業者 |
| 5 無職・家事      | 6 学生         |

問5 あなたの現在の住居の形態を教えてください。(○印は一つ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 戸建て住宅(持ち家)      | 2 戸建て住宅(賃貸)      |
| 3 マンション等集合住宅(持ち家) | 4 マンション等集合住宅(賃貸) |
| 5 社宅・官舎・寮など       |                  |

問6 あなたの現在の親との同居・別居を教えてください。(○印は一つ)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 同居      | 2 大和市内で別居   |
| 3 大和市外で別居 | 4 すでに亡くなられた |

問7 あなたのお住まいの地区を次の1～7から選んで番号に○をつけてください。(○印は一つ)

地域区分		地区名
1	中央林間地区	下鶴間(1448～1646番地、4374～4457番地)、 中央林間1～6丁目、中央林間西1～7丁目
2	つきみ野地区	下鶴間(1～1439・1945・2046～2244・5011～5287番地)、 つきみ野1～8丁目
3	南林間・鶴間地区	上草柳5～9丁目、下鶴間1～2丁目 下鶴間(1733～1943・1946～2044・2245～3070番地) 鶴間1～2丁目、西鶴間1～8丁目、深見西5～8丁目、南林間1～9丁目、 林間1～2丁目
4	相模大塚地区	上草柳(1～1931番地)、桜森1～3丁目
5	大和地区	上草柳1～4丁目、下草柳、草柳1～3丁目、中央1～7丁目、深見、 深見台1～4丁目、深見西1～4丁目、深見東1～3丁目、柳橋1・4丁目、 大和東1～3丁目、大和南1～2丁目
6	桜ヶ丘地区	上和田(1～2743番地)、代官1～4丁目、福田1～8丁目、 福田(2264～2620・4147～5697番地)、柳橋2・3・5丁目
7	高座渋谷地区	上和田(2744～3523番地)、渋谷1～6丁目、下和田、 福田(1～2263・3264～4146・6000～6215番地)

↑  
一つ  
まで  
○

**ここからは、すべての方に結婚や独身生活についてのお考えをうかがいます。**

問8 今のあなたにとって、結婚することにはなにか利点があると思いますか。Aのワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、「1 利点があると思う」に○をつけた方はBのワクの中から具体的な利点にあてはまる番号を二つまで選んで○をつけてください。

A	B	最大の利点	第二の利点
今のあなたにとって結婚することは 1 利点があると思う 2 利点はないと思う	1 経済的に余裕がもてる 2 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3 精神的な安らぎの場が得られる 4 現在愛情を感じている人と暮らせる 5 自分の子どもや家族をもてる 6 性的な充足が得られる 7 生活上便利になる 8 親から独立できる 9 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 10 その他 ( )		
		↑ 一つ まで ○	↑ 一つ まで ○

問9 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。Aのワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、「1 利点があると思う」に○をつけた方はBのワクの中から具体的な利点にあてはまる番号を二つまで選んで○をつけてください。

A	B	最大の利点	第二の利点
今のあなたにとって独身生活は 1 利点があると思う 2 利点はないと思う	1 行動や生き方が自由 2 異性との交際が自由 3 金銭的に裕福 4 住宅や環境の選択の幅が広い 5 家族を養う責任がなく、気楽 6 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7 職業をもち、社会とのつながりが保てる 8 現在の家族とのつながりが保てる 9 その他 ( )		
		↑ 一つ まで ○	↑ 一つ まで ○

※問8、9：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問



問12 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑪のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

	1 まったく賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらかといえば反対	4 まったく反対
①生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
②男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	1	2	3	4

問13 あなたは、(1)子どもは何人くらいほしいですか。また、(2)子どもの男女の組合せには希望がありますか。あてはまる番号に○をつけ、( )内に人数を記入してください。また、子どもを希望する方は、(3)最初の(次の)お子さんを持ちたいと思う年齢を記入してください。

(1) 希望する子どもの数

0 子どもはいない → 問14へ

1 1人

2 2人

3 3人

4 4人

5 5人以上 (      人)

(2) 子どもの男女組合せの希望

1 理想あり → { 男の子 (      ) 人  
女の子 (      ) 人

2 とくに理想はない

(3) 最初の(次の) お子さんを持ちたいと思う年齢  
あなたが  
(      ) 歳くらいのとき

## 異性との交際についてうかがいます。

問14 あなたには現在、(1)交際している異性がありますか。(1)の欄のあてはまる番号に○をつけてください。また、その回答に対応する矢印にしたがって、(2)交際の希望、(3)交際相手との結婚希望(最も親しい相手)、(4)結婚予定の年月のいずれかについて回答してください。

<p>(1) 異性との交際の状況</p> <p>1 交際している異性はいない</p> <p>2 友人として交際している異性がいる</p> <p>3 恋人として交際している異性がいる</p> <p>4 婚約者がいる</p>	<p>→</p>	<p>(2) 異性との交際の希望</p> <p>1 交際を望んでいる</p> <p>2 とくに異性との交際を望んでいない</p>
<p>→</p>	<p>→</p>	<p>(3) (最も親しい) 交際相手との結婚の希望</p> <p>1 結婚したいと思っている</p> <p>2 とくに結婚は考えていない</p>
<p>→</p>	<p>→</p>	<p>(4) 結婚予定は</p> <p>1 平成 2 西暦</p> <p>____年____月頃</p>

問15 問14(1)で「2~4」を選んだ方に伺います。(最も親しい)交際相手とは、いつ頃どのようなきっかけで知り合いましたか。(1)知り合った年月を記入し、(2)知り合ったきっかけのあてはまる番号に○をつけてください。また、交際相手の(3)年齢、(4)最後に卒業した(または在学中の)学校、(5)おつとめの状況について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1)知り合った年月	(2)知り合ったきっかけ	交際相手について		
		(3)年齢	(4)卒業(在学中)の学校	(5)おつとめの状況
<p>1 昭和</p> <p>2 平成</p> <p>3 西暦</p> <p>____年____月頃</p>	<p>1 学校で</p> <p>2 職場や仕事の関係で</p> <p>3 幼なじみ・隣人関係</p> <p>4 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで</p> <p>5 友人や兄弟姉妹を通じて</p> <p>6 見合いで (親せき・上役などの紹介も含む)</p> <p>7 結婚相談所で</p> <p>8 街なかや旅先で</p> <p>9 アルバイトで</p> <p>10 その他( )</p>	<p>____歳</p>	<p>1 中学校</p> <p>2 高校</p> <p>3 専修学校・短大・高専</p> <p>4 大学・大学院</p> <p>5 その他 ( )</p>	<p>1 正社員・正職員</p> <p>2 パート・アルバイト</p> <p>3 派遣・嘱託・契約社員</p> <p>4 自営業主・家族従業者</p> <p>5 無職・家事</p> <p>6 学生</p>

問16 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

<p>1 いずれ結婚するつもり</p> <p>2 一生結婚するつもりはない</p>
---



ここからあとの質問は、問 16 で 1 に○をつけた方(「いずれ結婚するつもり」の方)にうかがいます。2 に○をつけた方はここで終わりです。末尾の自由記入の欄に進んでください。

問17 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 ある程度の年齢までには結婚するつもり
- 2 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

問18 それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 一年以内に結婚したい
- 2 理想的な相手が見つければ結婚してもよい
- 3 まだ結婚するつもりはない

問19 あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を( )内に記入してください。

自分( )歳ぐらいのときに  
相手( )歳ぐらいの人と結婚したい

問20 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑧の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

①相手の学歴	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
②相手の職業	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
③相手の収入などの経済力	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
④相手の人から	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
⑤相手の容姿	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
⑥共通の趣味の有無	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
⑦自分の仕事に対する理解と協力	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない
⑧家事・育児に対する能力や姿勢	1 重視する	2 考慮する	3 あまり関係ない

問21 現在交際している人と(あるいは理想的な相手が見つかった場合)一年以内に結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。A のワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、「1 障害になることがあると思う」に○をつけた方はB のワクの中から、具体的な障害を二つまで選んで○をつけてください。

A	B	最大の障害	第二の障害
一年以内に結婚するとしたら  1 障害になることがあると思う  2 障害になることはないと思う	1 結婚生活のための住居 2 結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用) 3 親の承諾 4 親との同居や扶養 5 学校や学業上の問題 6 職業や仕事上の問題 7 年齢上のこと 8 健康上のこと 9 その他( )		
		↑ 一つ まで ○	↑ 一つ まで ○

※問21：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問

問22 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高三つまで選んで○をつけてください(すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄で12に○をつけてください)。

	最大の理由	第二の理由	第三の理由
1 結婚するにはまだ若すぎるから			
2 結婚する必要性をまだ感じないから			
3 今は、仕事(または学業)にうちこみたいから			
4 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから			
5 独身の自由さや気楽さを失いたくないから			
6 適当な相手にまだめぐり会わないから			
7 異性とうまくつき合えないから			
8 結婚資金が足りないから			
9 結婚生活のための住居のめどがたたないから			
10 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から			
11 その他( )			
12 すでに結婚が決まっている			

↑  
一つ  
まで  
○

↑  
一つ  
まで  
○

↑  
一つ  
まで  
○

※問22：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問

**以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です(ご意見等がなければ空欄のままでかまいません)。**

皆様が日頃の生活を通じて、導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じている施策があれば、下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

※貴重なお時間をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

ご記入の内容をもう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて、

平成 27 年 7 月 3 日 (金) までにポストに投函してください。

本調査の結果は本市における統計分析を通して、市民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。

なお、集計の結果については、本市ホームページに掲載する予定です。

## 「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の策定に関する市民アンケート調査

市民の皆様におかれましては、日頃より市政運営につきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国は昨年、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の克服と地域活性化の推進を図る全国的な取り組みをスタートさせました。

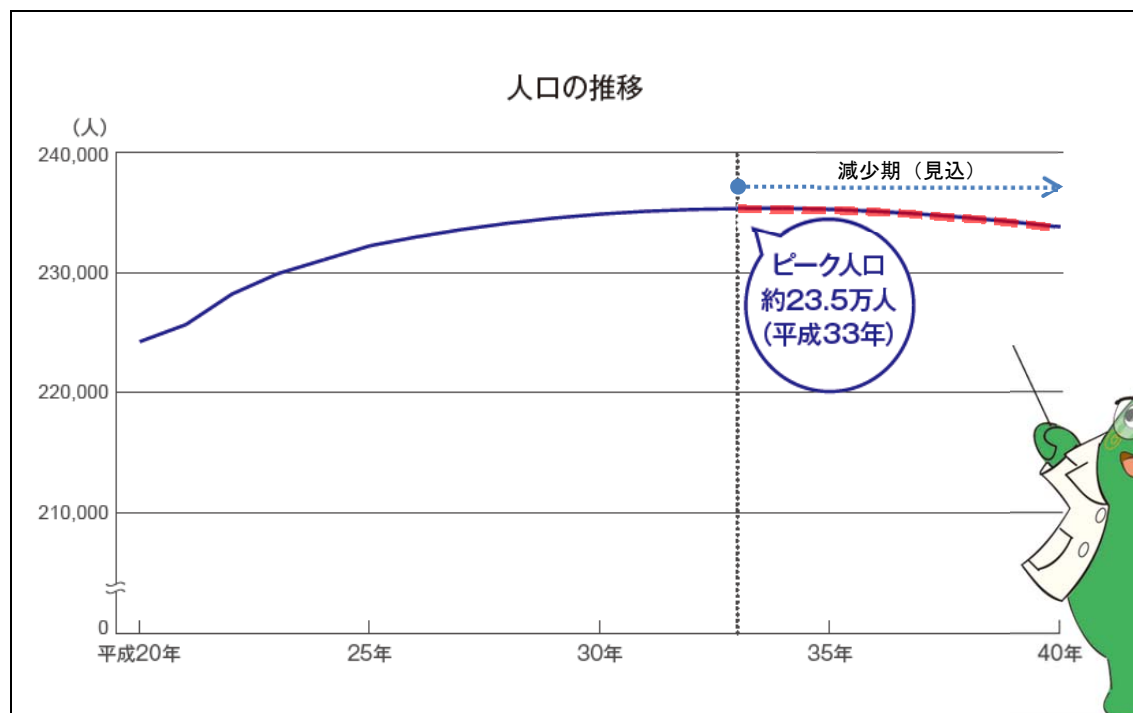
大和市の人口は現在も増加していますが、やがては訪れる減少期（※）に備えて、今のうちに効果的な対策を講じておくことが大変重要であると考え、本市においても「大和市版総合戦略」を策定していくことにいたしました。

この戦略を、人口減少に歯止めをかける実効性の高いものとするためには、市民の皆様の結婚・出産・子育てに対する意識や希望をしっかりと把握し、的確な分析を行ったうえで、有効な施策について検討していくことが重要であると捉えています。

つきましては、お手数をおかけし大変恐縮ですが、結婚・出産・子育てに対する意識・希望のアンケート調査（概ね10分かかります。）に是非ともご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

平成27年6月 大和市長

※第8次大和市総合計画の人口推計



## 《アンケートについて》

- このアンケート調査は、本市の人口推計の策定や人口減少に歯止めをかけるために必要な施策を検討するにあたって、理想とする子どもの人数や子育てに関する意識・希望を調査するものです。
- このため、住民基本台帳をもとに、結婚している50歳未満の方がおられる世帯から2,000人を無作為に抽出しており、ご夫婦のことについてお答えいただくことを想定しています。
- 調査は無記名方式で行うため、ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理されますので、お名前や個別の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。
- 設問は21問あり、概ね10分かかります。
- 本市において、人口減少に視点を置いたアンケート調査は初めてとなります。このことから、全国的な調査と比較することで本市の特徴や傾向を明らかにするため、国の機関が実施した調査※と概ね同一の設問としています。中には、答えにくいものもあるかと存じますが、出来る限りのご回答にご協力いただけますよう、お願いいたします。
- この調査は、大和市が（株）建設技術研究所に発送・回収などの業務を委託し、行っています。

## 《ご記入にあたって》

- ①宛名のご本人がお答えください。配偶者（夫・妻）の方が代わりに回答いただいても構いません。（代わりに回答する場合は、回答者自身の視点でお答えください）
- ②質問の番号に沿ってお答えください。
- ③番号に○印をつける設問では、（○印は一つまで）・（○印は二つまで）のように指定していますので、それに合わせてください。
- ④ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

7月3日（金）
---------

までにご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- ⑤調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、次の問い合わせ先までご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

大和市役所 政策部 総合政策課

電話：260-5304（直通）

（平日8時30分から17時15分まで）

※国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」

## あなた自身についてお伺いします

問1 あなたの性別を教えてください。(○印は一つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○印は一つ)

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満  | 2 20～24歳 | 3 25～29歳 | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40～44歳 | 7 45～49歳 | 8 50歳以上  |

問3 大和市内での居住年数を教えてください。(○印は一つ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 3年未満      | 2 3年以上5年未満   |
| 3 5年以上10年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 5 20年以上     |              |

問4 あなたのおつとめの形態を教えてください。(○印は一つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 正社員・正職員    | 2 パート・アルバイト  |
| 3 派遣・嘱託・契約社員 | 4 自営業主・家族従業者 |
| 5 無職・家事      | 6 学生         |

問5 同居されている家族構成を教えてください。(○印は一つ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1 ひとり暮らし   | 2 夫婦のみ  |
| 3 親と子(2世代) | 4 3世代以上 |
| 5 その他( )   |         |

問6 ご家族中に、「未就学」または「小学生以上18歳未満」のお子さんがいますか。(○印一つ)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 いる(未就学のお子さんのみ)              |
| 2 いる(小学生以上18歳未満のお子さんのみ)       |
| 3 いる(未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも) |
| 4 いない                         |

問7 現在の住居の形態を教えてください。(○印は一つ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 戸建て住宅(持ち家)      | 2 戸建て住宅(賃貸)      |
| 3 マンション等集合住宅(持ち家) | 4 マンション等集合住宅(賃貸) |
| 5 社宅・官舎・寮など       |                  |

問8 あなたのお住まいの地区を次の1～7から選んで番号に○をつけてください。(○印は一つ)

地域区分		地区名
1	中央林間地区	下鶴間(1448～1646番地、4374～4457番地)、 中央林間1～6丁目、中央林間西1～7丁目
2	つきみ野地区	下鶴間(1～1439・1945・2046～2244・5011～5287番地)、 つきみ野1～8丁目
3	南林間・鶴間地区	上草柳5～9丁目、下鶴間1～2丁目 下鶴間(1733～1943・1946～2044・2245～3070番地) 鶴間1～2丁目、西鶴間1～8丁目、深見西5～8丁目、南林間1～9丁目、 林間1～2丁目
4	相模大塚地区	上草柳(1～1931番地)、桜森1～3丁目
5	大和地区	上草柳1～4丁目、下草柳、草柳1～3丁目、中央1～7丁目、深見、 深見台1～4丁目、深見西1～4丁目、深見東1～3丁目、柳橋1・4丁目、 大和東1～3丁目、大和南1～2丁目
6	桜ヶ丘地区	上和田(1～2743番地)、代官1～4丁目、福田1～8丁目、 福田(2264～2620・4147～5697番地)、柳橋2・3・5丁目
7	高座渋谷地区	上和田(2744～3523番地)、渋谷1～6丁目、下和田、 福田(1～2263・3264～4146・6000～6215番地)

↑  
一つ  
まで  
○



**ここからは、ご夫婦の結婚までの過程についてうかがいます。**

問9 ご夫婦が、(1) 初めてお知り合いになったのはいつですか。(2) 婚約あるいは結婚の合意をなされたのはいつですか。また、(3) 結婚する前に同棲をしていた期間がありましたか。

(1) 初めて知り合った年月	(2) 婚約または結婚の合意の年月	(3) 同棲期間の有無
1 昭和	1 昭和	1 ない
2 平成 _____年_____月頃	2 平成 _____年_____月頃	2 あった
3 西暦	3 西暦	____年__ヵ月くらい

問10 どのようなきっかけでお知り合いになりましたか。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1 学校で 2 職場や仕事の関係で 3 幼なじみ・隣人関係 4 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで 5 友人や兄弟姉妹を通じて 6 見合いで（親せき・上役などの紹介も含む） 7 結婚相談所で 8 街なかや旅先で 9 アルバイトで 10 その他（ _____ ）
---

問11 最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。次の中からあてはまる番号を二つまで選んで○をつけてください。

1 結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた 2 収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた 3 自分または相手の仕事の事情 4 できるだけ早く一緒に暮らしたかった 5 年齢的に適当な時期だと感じた 6 できるだけ早く子どもがほしかった 7 子どもができた 8 友人や同年代の人たちの結婚 9 親や周囲のすすめ 10 その他（ _____ ）
--

※問9～11：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問

**ここからは、お子さんのことについてうかがいます。**

問12 お子さんについておたずねします。次の（ ）内に該当する人数を記入してください。

	全部で	男の子	女の子
これまでに生まれたおさんは	( ) 人 いない場合は0を記入	( ) 人 いない場合は0を記入	( ) 人 いない場合は0を記入

**ここからは、すべての方に、子どもを持つことについてのお考えをうかがいます。**

問13 ご夫婦にとって(1)理想的な子どもの数は何人ですか。また、(2)子どもの男女の別や組合せには理想がありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけ、組合せに理想のある方は男の子、女の子の数を( )内に記入してください。

<p>(1) 理想的な子どもの数</p> <p>0 子どもはいらない → 問14へ</p> <p>1 1人</p> <p>2 2人</p> <p>3 3人</p> <p>4 4人</p> <p>5 5人以上 ( ) 人</p>	→	<p>(2) 子どもの男女の別や組合せの理想</p> <p>1 理想あり →</p> <div style="display: inline-block; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">                 男の子 ( ) 人                  女の子 ( ) 人             </div> <p>2 とくに理想はない</p>
---	---	---

問14 ご夫婦の今後のお子さんの予定についておたずねします。(1) お子さんの数と、(2) 希望の時期について、あてはまる番号に○をつけてください。

<p>(1) 今後のお子さんの予定 (現在妊娠中のお子さんも含めて)</p> <p>あてはまる番号一つだけに○</p> <p>0 (もう) 生むつもりはない</p> <p>1 (あと) 1人生むつもり</p> <p>2 (あと) 2人生むつもり</p> <p>3 (あと) 3人生むつもり</p> <p>4 (あと) 4人以上生むつもり</p>	→	<p>(2) お子さんを希望する時期</p> <p>あてはまる番号一つだけに○</p> <p>1 できるだけ早く</p> <p>2 しばらく間をおいてから</p> <p>3 とくに考えていない</p> <p>4 現在妊娠中</p>
--	---	---

※問12～14：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問



**ご夫婦のご健康等にかかわる事柄についてうかがいます。**

**※この質問の回答は不妊に悩むご夫婦の実情を把握し、施策を検討するために必要な資料となります。**

問18 不妊について不安や悩みがありますか。また、不妊治療の経験はありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

<p>(1) 悩みの有無 あてはまる番号一つだけに○</p> <p>1 子どもができないことを心配したことはない</p> <p>2 過去に子どもができないのではないかと心配したことがある</p> <p>3 現在、子どもができないのではないかと心配している</p>	}	→	<p>(2) 不妊治療の経験の有無 あてはまる番号一つだけに○</p> <p>1 心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない</p> <p>2 過去に検査や治療を受けたことがある</p> <p>3 現在、検査や治療を受けている</p>
---	---	---	---

問19 不妊や不育症の認識等についてお伺いします。それぞれの右の欄のあてはまる番号に一つ○をつけてください。

	1 知っている、またはそう思う	2 どちらともいえない	3 知らなかった、またはそう思わない
①不妊症は男女のどちらにも原因が有り得ること、また、その原因を持つ比率が約50%ずつであることを知っていますか。	1	/	3
②不育症（2回以上の流産を繰り返す）は適切な治療により、出産に至る可能性が高くなることを知っていますか。	1	/	3
③もし、なかなか子どもを授からなかった場合には、検査や治療を受けたいと思いますか。	1	2	3
④大和市が、不妊治療費の助成や不育症治療費の助成を行っていることを知っていますか。	1	/	3

※問18：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問

**すべての方に結婚、男女関係、家庭、子どもについてのお考えをうかがいます。**

問20 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑪のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

	1 まったく賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらかといえば反対	4 まったく反対
①生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
②男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない	1	2	3	4

**子育てしやすい環境づくりについてお考えをうかがいます。**

問21 ご夫婦が子育てをするにあたり、充実、向上等を望む施策をAのワクから選んで一つ○をつけてください。またその具体的な内容をBのワクに記載してください。

<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 子育てに係わる経済的支援の充実</li> <li>2 教育環境の充実</li> <li>3 住環境の充実</li> <li>4 交通の利便性や安全性の向上</li> <li>5 自然環境の維持・保全</li> <li>6 防犯対策の充実</li> <li>7 医療サービスの充実</li> <li>8 その他 (                      )</li> </ul>	→	<p>B</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>
--	---	---

※問20：国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査」と同一の設問

**以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です(ご意見等がなければ空欄のままでかまいません)。**

そのほか、本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

※貴重なお時間をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

ご記入の内容をもう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて、

平成 27 年 7 月 3 日 (金) までにポストに投函してください。

本調査の結果は本市における統計分析を通して、市民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。

なお、集計の結果については、本市ホームページに掲載する予定です。

## 「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の策定に関する市民アンケート調査

市民の皆様におかれましては、日頃より市政運営につきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国は昨年、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の克服と地域活性化の推進を図る全国的な取り組みをスタートさせました。

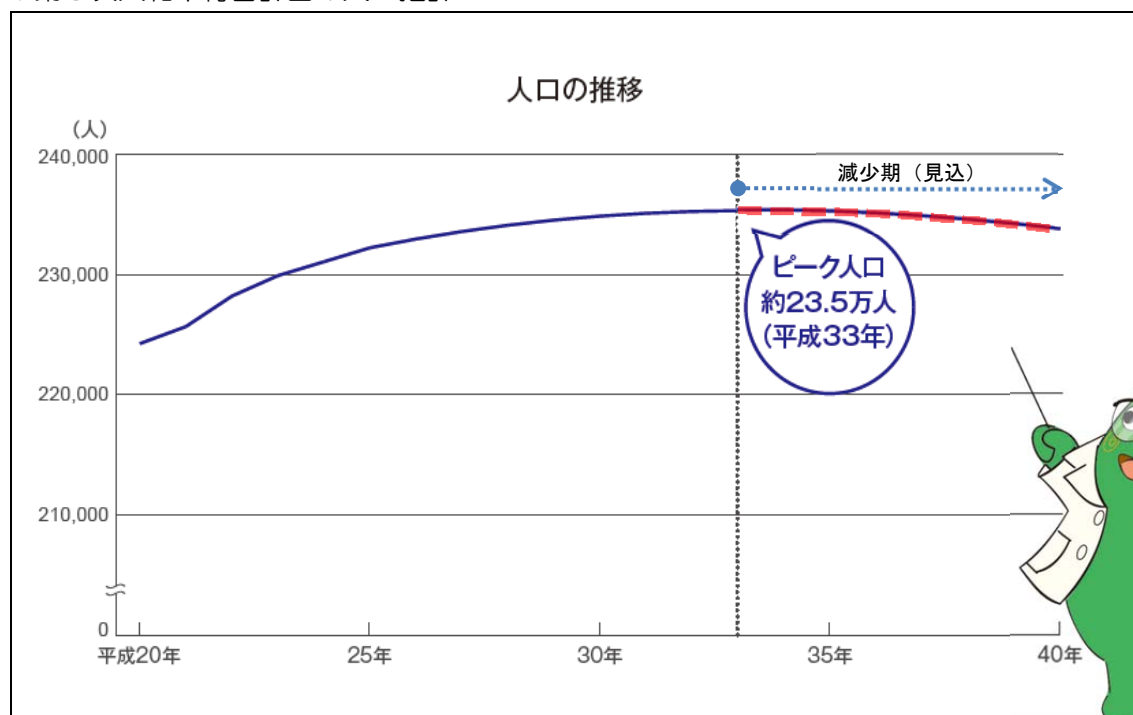
大和市の人口は現在も増加していますが、やがては訪れる減少期（※）に備えて、今のうちに効果的な対策を講じておくことが大変重要であると考え、本市においても「大和市版総合戦略」を策定していくことにいたしました。

この戦略を、人口減少に歯止めをかける実効性の高いものとするためには、市への転入のきっかけや定住に繋がる意識をしっかりと把握し、的確な分析を行ったうえで、有効な施策について検討していくことが重要と捉えています。

つきましては、お手数をおかけし大変恐縮ですが、移住・定住に関するアンケート調査（概ね10分かかります。）に是非ともご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

平成27年6月 大和市長

※第8次大和市総合計画の人口推計



### 《アンケートについて》

- このアンケート調査は、定住人口を増やし、人口減少に歯止めをかけるために必要な施策を検討するにあたって、転入のきっかけや定住に繋がる要因を調査するものです。
- 調査は、住民基本台帳をもとに、16歳以上の市民の皆様の中から2,000人を実無作為に抽出し、無記名方式で行います。ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理されますので、お名前や個別の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。
- 設問は22問あり、概ね10分かかります。
- この調査は、大和市が（株）建設技術研究所に発送・回収などの業務を委託し、行っています。

### 《ご記入にあたって》

- ①あて名のご本人様がお答えください。
- ②質問の番号に沿ってお答えください。
- ③番号に○印をつける設問では、（○印は一つまで）・（○印は二つまで）のように指定していますので、それに合わせてください。
- ④ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**7月3日（金）**までにご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- ⑤調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、次の問い合わせ先までご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

大和市役所 政策部 総合政策課

電話：260-5304（直通）

（平日8時30分から17時15分まで）



## あなた自身についてお伺いします

問1 あなたの性別を教えてください。(○印は一つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○印は一つ)

- |          |           |           |          |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1 20歳未満  | 2 20～24歳  | 3 25～29歳  | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40～44歳  | 7 45～49歳  | 8 50～54歳 |
| 9 55～59歳 | 10 60～64歳 | 11 65～69歳 | 12 70歳以上 |

問3 大和市内での居住年数を教えてください。(○印は一つ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 3年未満      | 2 3年以上5年未満   |
| 3 5年以上10年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 5 20年以上     |              |

問4 あなたのおつとめの形態を教えてください。(○印は一つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 正社員・正職員    | 2 パート・アルバイト  |
| 3 派遣・嘱託・契約社員 | 4 自営業主・家族従業者 |
| 5 無職・家事      | 6 学生         |

問5 あなたの現在の住居の形態を教えてください。(○印は一つ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 戸建て住宅(持ち家)      | 2 戸建て住宅(賃貸)      |
| 3 マンション等集合住宅(持ち家) | 4 マンション等集合住宅(賃貸) |
| 5 社宅・官舎・寮など       |                  |

問6 あなたの現在の親との同居・別居を教えてください。(○印は一つ)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 同居      | 2 大和市内で別居   |
| 3 大和市外で別居 | 4 すでに亡くなられた |

問7 あなたのご家族の中に「未就学」または「小学生以上18歳未満」のお子さんはいますか。(○印は一つ)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 いる(未就学のお子さんのみ)              |
| 2 いる(小学生以上18歳未満のお子さん)         |
| 3 いる(未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも) |
| 4 いない                         |

問8 あなたのお住まいの地区を次の1～7から選んで番号に○をつけてください。(○印は一つ)

地域区分		地区名
1	中央林間地区	下鶴間(1448～1646番地、4374～4457番地)、 中央林間1～6丁目、中央林間西1～7丁目
2	つきみ野地区	下鶴間(1～1439・1945・2046～2244・5011～5287番地)、 つきみ野1～8丁目
3	南林間・鶴間地区	上草柳5～9丁目、下鶴間1～2丁目 下鶴間(1733～1943・1946～2044・2245～3070番地) 鶴間1～2丁目、西鶴間1～8丁目、深見西5～8丁目、南林間1～9丁目、 林間1～2丁目
4	相模大塚地区	上草柳(1～1931番地)、桜森1～3丁目
5	大和地区	上草柳1～4丁目、下草柳、草柳1～3丁目、中央1～7丁目、深見、 深見台1～4丁目、深見西1～4丁目、深見東1～3丁目、柳橋1・4丁目、 大和東1～3丁目、大和南1～2丁目
6	桜ヶ丘地区	上和田(1～2743番地)、代官1～4丁目、福田1～8丁目、 福田(2264～2620・4147～5697番地)、柳橋2・3・5丁目
7	高座渋谷地区	上和田(2744～3523番地)、渋谷1～6丁目、下和田、 福田(1～2263・3264～4146・6000～6215番地)

↑  
一つ  
まで  
○

**ここからは、あなたの定住意向についてうかがいます。**

問9 あなたは、現在の住所に来られる直前に、どちらにお住まいでしたか。(○印は一つ)

1	生まれてからずっと大和市に住んでいる	→【問13へ】
2	大和市以外 ( ) 都・道・府・県	( ) 市・町・村
		( ) 区
3	海外	

問10 問9で「2 大和市以外」、「3 海外」を選択した方に伺います。大和市への転入のきっかけを教えてください。(あてはまるもの全てに○印)

1	仕事の都合	2	結婚
3	住宅の取得等	4	子育ての都合
5	親族の介護	6	進学
7	親の仕事の都合	8	その他 ( )

問11 転入時、大和市を選択した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○印)

子育て	1	幼稚園や保育所、児童クラブなどの子育て関連施設が充実しているから
	2	小児医療費助成制度などの子育て支援策が充実しているから
教育・文化	3	小・中学校などの教育環境が良いから
	4	図書館や学習センターなどの施設が充実しているから
スポーツ	5	スポーツ施設が整備されているから
	6	高齢の方や障がいのある方への福祉施策が充実しているから
健康・福祉	7	病院などの保健・医療体制が整っているから
	8	鉄道やバスなどの交通の利便性が良いから
利便性	9	日常の買い物などの利便性が良いから
	10	土地建物や賃料の価格などの住宅事情が良いから
経済性	11	物価が安いから
	12	街並みなどの雰囲気が良いから
まちづくり	13	道路や下水道が整備されているから
	14	公園が整備されているから
	15	防災対策が充実しているから
安全・安心	16	自然災害が少なく安心だから
	17	治安が良いから
	18	自然環境が残されているから
環境	19	環境対策が進んでいるから
	20	親や子ども世帯と同居・近居するため
その他	21	特になし
	22	その他 ( )

問12 以前お住まいの都市と比べて、大和市の方が優れている点、優れていない点について、それぞれ教えてください。

優れている点	優れていない点

問13 大和市に今後も住み続けますか。(○印は一つ)

1 住み続ける → 【問14へ】      2 転出する → 【問16へ】      3 わからない → 【問19へ】

問14 問13で「1 住み続ける」を選択された方に伺います。どのくらい住み続ける予定ですか。(○印は一つ)

- 1 ずっと住み続ける
- 2 10～20年は住み続ける
- 3 5～9年は住み続ける
- 4 1～4年は住み続ける



問16 問13で「2 転出する」を選択された方に伺います。いつぐらいに転出される予定ですか。(○印は一つ)

- |   |              |
|---|--------------|
| 1 | 4年以内に転出する    |
| 2 | 5～9年後に転出する   |
| 3 | 10～20年後に転出する |
| 4 | いつか転出する      |

問17 問13で「2 転出する」を選択された方に伺います。大和市を転出しようとする理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○印)

子育て	1	幼稚園や保育所、児童クラブなどの子育て関連施設が不足しているから
	2	小児医療費助成制度などの子育て支援策が不足しているから
教育・文化 スポーツ	3	小・中学校などの教育環境が整っていないから
	4	図書館や学習センターなどの施設が不足しているから
	5	スポーツ施設が整備されていないから
健康・福祉	6	高齢の方や障がいのある方への福祉施策が不足しているから
	7	病院などの保健・医療体制が整っていないから
利便性	8	鉄道やバスなどの交通の利便性が悪いから
	9	日常の買い物などに不便だから
経済性	10	土地建物や賃料の価格などの住宅事情が悪いから
	11	物価が高いから
まちづくり	12	街並みなどの雰囲気が悪いから
	13	道路や下水道が整備不十分だから
	14	公園が整備不十分だから
安全・安心	15	防災対策が不十分だから
	16	自然災害が多いから
	17	治安が悪いから
環境	18	自然環境が少ないから
	19	環境対策が不十分だから
その他	20	親や子ども世帯と同居・近居するため
	21	特になし
	22	その他( )

問18 問13で「2 転出する」を選択された方に伺います。希望する転出先があれば教えてください。

( ) 都・道・府・県	( ) 市・町・村	( ) 区
-------------	-----------	-------

※都道府県の記入のみでも結構です。

**ここからは、定住促進に向けた市の取り組みについて考えをうかがいます。**

問19 大和市への定住を促進するために、市はどのような取り組みに力をいれるべきだと思いますか。あてはまる番号を三つまで選んで○をつけて下さい。(○印は三つまで)

雇用	1	若者の就職や就業の支援
	2	企業立地の促進
交流	3	魅力ある観光と交流の推進
	4	市民活動や地域活動の充実
結婚	5	出会いの機会の提供支援
	6	結婚生活の支援
子育て	7	安心して出産・子育てできる環境の充実
	8	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現
教育	9	学校教育の充実
	10	生涯学習の充実
健康・福祉	11	健康増進対策の充実
	12	医療や福祉の充実
暮らし	13	住宅支援や住環境の向上
	14	公共交通の充実
経済	15	商業の活性化
	16	地域農作物の地産地消の推進
安全・安心	17	防犯や防災の強化
	18	公共インフラの老朽化対策
環境	19	良好な自然環境の保全
文化	20	芸術・文化の振興
広報	21	まちのイメージアップの取り組み
	22	まちの情報提供・PRの強化
その他	23	具体的に ( )

**ここからは、大和市について考えをうかがいます。**

問20 大和市に魅力や愛着を感じるのはどのようなことですか。あてはまる番号を二つまで選んで○をつけてください。(○印は二つまで)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 子育てがしやすい環境 | 2 安心して暮らせる住環境 |
| 3 緑豊かな自然環境   | 4 利便性の高い公共交通  |
| 5 地域の歴史や伝統文化 | 6 地域の文化や芸術    |
| 7 充実したスポーツ環境 | 8 特にない        |
| 9 わからない      | 10 その他( )     |

問21 大和市のイメージを一言でご記入ください。

問22 大和市のイメージアップを図るために必要なことをお聞かせください。



**以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です(ご意見等がなければ空欄のままでかまいません)。**

本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

※貴重なお時間をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

ご記入の内容をもう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて、

平成 27 年 7 月 3 日 (金) までにポストに投函してください。

本調査の結果は本市における統計分析を通して、市民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。

なお、集計の結果については、本市ホームページに掲載する予定です。